



ぼうさいあいち

会報 34 号 (秋だより)

特定非営利活動法人

愛知県防災士会

発行日 令和 6 年 10 月 1 日

「自分の身は自分で守る(備えを大切に)」

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は NPO 法人愛知県防災士会の活動に格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年はオリンピックイヤー、フランスのパリで開催され、日本選手の活躍で私たちに興奮と感動を与えてくれました。メダル総数は海外で開催された五輪では過去最多の獲得数となり、無事に幕を閉じました。

さて、8月8日 16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード 7.1 の地震が発生しました。大きな被害はなく日常生活ができる状態でしたが、場所が南海トラフ地震の想定震源域で発生した地震のため、評価検討会を臨時に開催し、大規模地震の発生可能性が平常に比べて相当高まっているとの結論が出ました。気象庁より、今後の1週間程度の「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。

直ぐに発生することに対してではなく、日頃から自分の身を守るための備え等の再点検を行い、避難場所・ハザードマップ・安否確認の確認方法、家具の転倒防止等の室内対策、食料品の備蓄等の確認を行い、今後の政府や自治体等からの情報等に応じた冷静な防災対応をとるよう心掛けることが大切です。

又、8月22日に発生した「台風10号」は伊勢湾台風に匹敵する勢力で九州に上陸しましたが、速度が遅くて進路が定まらず、列島に停滞し大きな被害をもたらしました。

予期せず発生する自然災害は防ぐことはできませんが、風水害は気象庁からの情報、場所を選ばず発生する地震も「事前の備えと心構え」が益々重要になってきます。

今年度も NPO 法人愛知県防災士会は地域防災を展開し、多くの方に災害時の防災意識を高め、「自分の身は自分で守る」を念頭に置き、減災・自助に向けた啓蒙活動を皆様と共に進んでまいりますのでご支援・ご協力をお願いします。



NPO 法人
愛知県防災士会
理事長 寺島 一徳

目次

- 自分の身は自分で守る（備えを大切に）・・・・・・・・・・・・・・・・P1
理事長 寺島一徳
- 理事紹介（令和6年度）・・・・・・・・・・・・・・・・P3～5
財務委員長・事務局長 槌岡宏行
- 名古屋市公認防災広報アンバサダーそなえ・まいのいこまい、やろまい、
そなえよまい・・・・・・・・・・・・・・・・P5
伊藤知恵
- 名古屋市港防災センター「夏イベントセンターまつり」・・・・・・・・ P6
日時：2024年7月20日（土）～21日（日）10：00～15：00
伊藤知恵
- グリーンシティ師勝自治会防災研修・・・・・・・・・・・・・・・・P7～9
日時：2024年6月23日（日）10：00～12：00
原田友子
- 水害マイ・タイムライン等 講師養成研修に参加して・・・・・・・・P10
日時：2024年8月24日（土）13：00～15：30
田中研策



NPO 法人 愛知県防災士会

広報委員会 編纂

〒453-0013

名古屋市中村区亀島1丁目11-14

東特会館

理事の紹介

参与 倉知 彰治

今までの引き続き、組織全般の指導、助言が役割ということですね。新しい感覚で頑張っていきたいと思います。私の出来る範囲でベスト尽くします。宜しくお願い致します。

理事長 寺島 一徳

NPO法人愛知県防災士会理事長の寺島一徳でございます。今年度より、4期目になります。

スキルアップ研修・出前講座を中心に活動して、多くの方に減災・自助防災に向けた啓蒙活動を続けていきたいと思いますので、ご支援・ご協力をお願いします。

副理事長 手塚 哲郎

副理事長をさせていただいております。郵便局長時代に防災士の資格を取り、愛知県支部設立(平成18年)からたずさわっています。キャリアだけは長いですが、「学ぶ」ことは「まねる」ことをモットーに研鑽に努め、スキルアップをしていきたいと思っています。

副理事長・研修副委員長 宮澤 昌嗣

濃尾平野は桑名・養老断層が伊勢湾断層に沈み込む東高西低の地盤構造です。この地形の木曾三川の河口近く桑名市長島町に住んで40年。同じゼロメートル地帯で活動する周辺市町村の防災士仲間と連携して防災・減災・忘災啓発～自助、共助、「互助」に取り組んでいます。

研修委員長 小塚 達也

会員の皆さんが、地元で講習会等を実施時に使えるスキルを学ぶ事の出来る講習を当会のアドバイザーをはじめ外部講師の協力で進めていきます。

皆さんのニーズにもお応えしたいと思っておりますので、ご意見などお聞かせ下さい。今後ともよろしくお願い致します。

組織委員長 加藤 和久

春日井市で生まれ育ちました。関田区連合町内会で12年間活動して来ました。AEDを関田公民館の玄関に取りつけ24時間利用できるようにしました。公民館を利用する人に定期的に講習会開催中です。区長 相談役そして今は顧問として協力してます。趣味はドラゴンズファンです。ドームに何度も行きましたが残念です！

広報委員長 石垣 辰夫

当会の研修副委員長・組織副委員長を努めてきました。令和6年度は広報委員長を拝命いたしました。

会員の皆様よりご協力をいただき、広報誌「ぼうさいあいち」の充実した発行に努力しますので、各位の積極的な原稿の投稿などをよろしくお願い申し上げます。

財務委員長・事務局長 槌岡 宏行

会員皆さまからのご意見に耳を傾け、愛知県防災士会の運営に役立てるよう、一生懸命努めてまいります。また、NPOとしての社会貢献や現在650名強の会員数を拡大できるように、役員一丸となって取り組んでまいります。

研修委員 広瀬 一行

『人生夢あれば、生きる糧となる』つらいこと 悲しいことも 乗り越えて 人生航路 夢あれば勝つ 山があり 深い谷あり 乗り越えて 人生航路 夢あれば勝つ 転んでも ただは起きぬ 乗り越えて 人生航路 夢あれば勝つ

研修委員 近藤 斎

研修委員を担当します、一宮市の近藤です。防災士の皆様方の防災スキル向上に役に立つように月に1度の防災研修会を実施して行きたいと思っています。応援を宜しくお願いします。

研修委員 小林 春代

東三河ブロック 蒲郡市の小林 春代です。三河地震、伊勢湾台風体験。「もしもの時 市民の誰もが悔いのない判断と行動が取れる生命力を」と「気候風土」「住む人」「襲う災害」「生命の守り方」を「知ってて」と、県レベルの学びを地元市民へと啓発活動中です。よろしくお願ひいたします。

組織副委員長 大塚 正寿

大塚正寿と申します。この度、組織副委員長を拝命いたしました。防災に対する熱意を持ち、長年にわたり防災分野で活動してきました。名古屋みどり災害ボランティアネットワークや消防団などでの活動経験を活かし、地域の防災・減災活動を推進し、県全体を通して防災意識を高める啓発活動を行っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

組織委員 伊藤 知恵

名古屋ブロックの伊藤知恵と申します。防災士会愛知県支部立上げメンバーとして、自助・共助を啓発・促進するよう活動してきました。微力ながら皆様と共に、愛知県メンバー、顔の見える関係で活動していきたいと考えます。皆様、宜しくお願いいたします。

組織委員 山内 敏和

豊橋市在住で東三河ブロックです。防災意識ある皆様がブロック内で「一枚岩」にならないと勿体ないですね。頑張りましょう！現在、持続性を高め対応力も研究中です。今後は研修も力を注ぎたいと考えています。宜しくお願い致します。

広報委員 高橋 義廣

三河ブロックで刈谷市の高橋です。広報を担当します。地域では自主防災を中心に実務活動を行ってきました。NPO 法人の組織活動は初めての体験になりますが、防災士の皆さんと一緒に更なるレベルアップを図りながら、地域活動にも支援していきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

財務副委員長・事務局次長 中村 剛也

今年度より財務副委員長・事務局次長として理事をやらせていただくこととなりました、名古屋市在住の中村です。まだまだ勉強中ですが、少しでも皆様の活動のお役に立てるよう努力してまいります。

監事 河合 美恵子

東三河ブロック、豊川市在住です。

研修等、なかなか出られない方も多いので、地区に持ち帰り防災士のレベルアップにつなげていければと思っています。

監事 原田 友子

過去の災害を学び家族全員が生き延びる、災害後に起こる災害関連死を防ぐための生活(備蓄品等の見直し)個人の自助力を高め誰にでも出来る身近な防災・最低限の常備品等を学び広める活動を目標とします。

監事 田中 研策

今年度より監事としてお世話になります。有り難い機会です。初めて知る活動に驚く毎日ですが一歩一歩みなさまより勉強させて頂き微力ながら防災意識アップに向けて一生懸命務めさせていただきます。

MID-FM76. 1 ラジオ番組
【名古屋市公認防災広報アンバサダーそなえ・まいの
いこまい、やろまい、そなえよまい】



皆様にご紹介させていただきます。

私がプロデュースした、名古屋市公認防災広報アンバサダー【そなえ・まい】ちゃんのラジオ番組『名古屋の防災、いこまい、やろまい、そなえよまい』が、MID-FM76. 1で毎週火曜日17時～(再放送土曜日11:15～) 10分間放送されています。我々の寺島理事長にもご出演頂きました。

このラジオ局、MID-FM76. 1は名古屋市と締結し、普段はトーク番組、しかし有事の際は市役所より最新ニュースが流れるラジオ局です。

どこでどう被害が出ている・・・など最新ニュースをいち早くゲットできます。

防災に無関心な層に向けて、楽しく、おかしく、興味が湧くようにそなえ・まいちゃん16才が、ゲストとトークを広げる番組です。

番組も3年目に突入し、放送済みのものは全てYouTubeにアップされています。

寺島理事長の放送分も・・・ネットで・・・そなえまいラジオ防災士寺島・・・と検索されますと見つかります。どうぞ、お聴き下さいませ。

是非、ダウンロードお願いします。

また、名古屋市公認防災広報アンバサダー【そなえ・まい】の曲があります。

こちらもお聴きください。

今回は8月10日ー11日、東海テレビ主催『子ども万博 in 2024』に防災ブースで参加した様子をご報告します。



取材担当：伊藤知恵

名古屋市港防災センター『夏イベントセンターまつり』

理事・組織委員 伊藤知恵

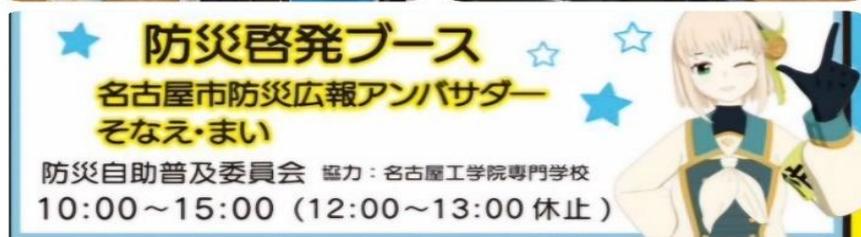
毎年名古屋市港防災センターで『夏イベントセンターまつり』が開催されます。今年も防災啓発そなえまいブースで参加しました。

40度近い猛暑の中、夏休みに入った7月20-21日と開催され、多くの親子連れ、子ども同士の勉強になど…市内、県外各地域より大勢の参加者で盛り上がりました。毎年、名古屋市公認防災広報アンバサダーそなえまいブースでは、『わたしのぼうさいせんげん』として、センターで学んだこと、気付いたことで、生き残る為にどうしたらいい？とぬり絵と一緒に防災宣言を書いてもらっています。

水・食料を1週間分備える、ハザードマップの見方を覚える、家具転倒防止を家で確認するなど・・・子どもの目線で備えを考えてくれていました。

今回は外国人見学者も多く、伊勢湾台風の被害を知る、起震車などにぎわっていました。

家族会議、生き残る為にどうしたらいいか？を考える時間を持ってほしいものです。



取材担当：伊藤知恵

グリーンシティ師勝自治会防災研修

災害時に役立つパッククッキング炊出し

日 時：令和6年6月23日（日）10:00～12:00

場 所：グリーンシティ師勝自治会集会所

講 師：愛知県防災士会 原田友子

補助者：近藤斎

愛知県防災士会の会員であり自治会の役員でもある林敏行様より災害時に役立つパッククッキングの研修会のご依頼があり、ポリ袋で「簡単に調理ができる」事と「備えの大切さ」を知っていただく研修会・実技を行いました。

参加者は、男性、女性、小学生合わせて30名6人×5テーブルでの実技に自治会の役員10名の方にお手伝いを頂きながら作業開始、パッククッキング（ポリ袋レシピ）の簡単さと被災時に温かい料理を食べられる事は、心も体もホッコリ出来る事と平日頃の食べられた食事が災害関連死を防ぐためにも大切である事を伝え日常の中で時々実践して下さいと話し、それぞれの作業に入りました。出来上がりは皆さん「美味しい～」と食べていました。



災害時に役立つ! パッククッキング

ポリ袋で
簡単!

被災しても温かい料理で
心も体もホッコリ!

ガス・電気が
使えない
時に!

場所 グリーンシティ師勝自治会

2024年6月23日

NPO法人 日本防災士会
愛知県支部 原田友子

パッククッキングレシピ

①切り干し大根の煮物

切り干し大根 30g
油揚げ 1枚分（ザク切り）
にんじん 25g

2人分（20分）

調味料 大さじ1
すき焼きのタレ150CC

②かぼちゃの甘煮

かぼちゃ 1/4個 50g
和風だしの素（顆粒小さじ1/3）

2人分（15分）

薄口醤油 大さじ1/2

③ベーコンポテト

じゃがいも100g ベーコン20g 塩少々

2人分（30分）

④さつま芋のレモン煮

さつま芋60g レモン1枚 水、小さじ1~2 砂糖小さじ1

2人分（30分）

主食 ごはん（75g・90CC、柔らか目1人分）

米150g 水180CC

（米75g→水75~80少し固め）

2人分（30分・10分蒸らす）



パッククッキング会場の写真風景 食事の前に食材を鍋に入れて出来上がる迄の時間に地震に対する備えやポリ袋レシピの注意点等をチラシ配布して説明しました。

★地震に対する備え

- ①家屋や塀の確認 ②非常品を備えておこう ③消火の備えをしておこう ④防災知識を身につけておこう ⑤地域の危険性を把握して防災行動力を高めよう等

★地震時の行動

- ①地震だ！ まず身の安全 ②落ちついて火の元確認 窓や戸を開け出口を確保 ③協力し合って救出・救護 ④火災や津波確かな避難 ⑤避難前に安全確認電気・ガス

★ローリングストック 新しい備蓄方法

- ①災害時のために備える ②日常的に古いものから順番に食べて消費する ③食べて減った分を常に多めに食品をキープ

★ポリ袋レシピ

- ①ポリエチレン袋（25cm×35cm程度）食材を鍋に入れて沸騰させる。出来上がったら皆さんと和気あいあいと楽しく試食しましょう。

<防災グッズ品>



取材担当：原田友子

水害マイ・タイムライン等講師養成研修に参加して

日 時： 2024年8月24日（土） 13:00～15:30
 場 所： ウィンクあいち
 講 師： 1部 基礎知識（洪水・堤防）防災情報の取得 動画研修
 国土交通省 水管理・国土保全局河川環境課 藤岡 太造
 2部 マイ・タイムライン作成体験
 一般財団法人 河川情報センター 鮎川 一史
 3部 意見交換 グループ発表

参加者： 愛知県・岐阜県・三重県 防災士会員43名

- 内 容：
- ◇ 防災の基本知識
 - ◇ 講師としての進め方
 - ◇ マイ・タイムライン作成
 - ◇ 「逃げキッド」の使い方
 - ◇ グループ討議・発表



前半は座学で研修

前半では実際の被害状況動画により水害対策の必要性、チェックシートで各地域の確認、記入をしました。ハザードマップも各自治体で記載内容が違うことに驚きました。

後半のマイ・タイムラインの作成では「逃げキッド」を活用しました。シールでの作成など子供から大人まで作りやすく、自分たちで作ることによって、何を行動すべきかが分かりやすいため、自宅に貼って防犯意識UPに有効だと感じました。グループ討議では今後講師として意識、開催方法など経験に基づいた熱い時間で、発表もそれぞれ地域も考えた内容でした。3県の参加でしたがそれぞれの環境で必要な行動が違い、いかに一人でも多くの地域の方に一緒に考えて伝えていくことが大切であると再認識できました。研修後の台風10号の発生により身近でニュースの内容がより分かり、リアルタイムで有意義な研修となりました。



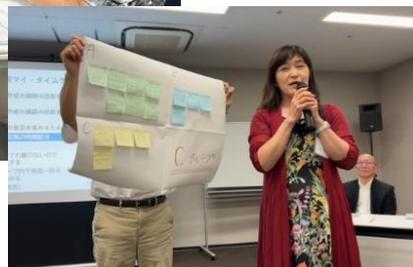
マイ・タイムラインの作成風景



「逃げキッド」



指示する榎岡事務局長



伊藤理事によるグループ発表



修了証を寺島理事長が代表授与

取材担当 田中 研策

